

桃山学院高等学校『学校評価』概略

2015年10月31日

桃山学院中学校高等学校

校長 田中栄司

I. 学校評価に関するアンケート

桃山学院中学校高等学校では各種アンケートを下記のように実施してきました。

- (1)生徒対象…2014年5月「生活と意識調査」
- (2)保護者対象…2014年12月
- (3)教員対象…2015年1月

※その他アンケートとして「健康調査アンケート」「図書館活動のまとめ」など

II. 教育活動に関して

(1)桃山学院はキリスト教精神に基づく教育を推進しています。そのキリスト教精神に立脚した本校の教育的使命を明確にするため、以下のミッションステートメントを作成しました。このミッションステートメントは全教職員が共有し今後の長きにわたって本校の教育のあり方を規定するものです。

桃山学院中学校高等学校のミッションステートメント

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、生徒一人ひとりを大切に、個々の生徒が持つ多様な可能性を開花させ、健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

(2)2014年度の主な活動は以下の通りです。

- ① 教科主任の校長任命制度と任期延長…2012年度まで各教科内で選出されていた教科主任を2013年度より学校長による任命としました。また任期を5年間延長しました。この2年間、教科主任を中心とした生徒の学力向上に向けたさまざまな取り組みが継承され統括的に実践されています。
- ② 2013年度7月に保護者向けに作成配布した「いのちをたいせつにするマニュアル」は「いのちの教育」を発展させたもののなかで作成しましたが、2015年度末をめどにマニュアルの見直しをすすめます。
- ③ 「いじめ防止基本方針」を作成しましたが、その方針に常に立ち返り、いじめの起きない学校づくりを目指していきます。
- ④ いのちの教育室…2012年度に保健指導委員会や宗教教育委員会、人権教育・カウンセリング委員会、また、ボランティア担当やSBS担当を概括する組織として設置され、「いのちの教育室」が中心となった具体的な取り組みが行われました。

《1》ボランティア

東北ボランティアは2012年に始まりましたが2014年度も南三陸に3日間活動をしました。高校1年2年が中心となって約40名が参加し、海岸清掃や現地の被災した方の話を聴くといった貴重な時間をすごすことができました。

《2》響プロジェクト

11年前に生徒が亡くなるというつらい経験をした桃山学院は、「いのちの大切さ」を生徒だけでなく地域の人々や保護者にも伝えていくために講演会などを企画しています。また、2015年5月27日を「いのちの日」と制定することになりました。

《3》炊き出し訓練

2014年12月5日に 地域の方々約50名、近所にある保育園の園児や先生方約50名を本校の食堂に招いて、「炊き出し訓練」を実施しました。地域の方々や園児に対しては本校の生徒が付き添うというかたちで正門から食堂までを案内しました。また、生徒と食堂のスタッフが一緒になり「おにぎりと豚汁」を作り振舞いました。

⑤2014年度の大学合格者数については、2013年度と同様、国公立大学および難関私立大学において顕著な増加(国公立大学においては一昨年の約2倍)がありました。また、現役合格の割合も継続的に高いものになっています。今後も生徒の学力の伸長については模擬試験の結果などを詳細に分析し、進路指導部を中心に「M1プロジェクト会議」を行い、その報告を、運営委員会・職員会議・各学年会議・コース会議などで行って情報を共有します。

⑥「目に見えない実力(責任感や協調性など)」の育成についても自治会指導部や生活指導部、宗教科が中心となって行い、上記⑤の「目に見える実力」の更なる向上と共に、生徒たちの全人的な成長を図ります。それによって桃山学院中学校高等学校の大きな目標である「日本一の中学校・高等学校(卒業生と保護者の満足度の割合において)」を実現していきます。

⑦「学校評価」については、さらに充実したものにするために、また学校での教育活動に生かすために、さらなる努力を継続して行っています。

Ⅲ.アンケート結果

(1)生徒対象「桃高生の生活と意識に関する調査」(抜粋)

1.あなたが桃山に入学した動機は何ですか

2.現在の学校生活に満足していますか

項目	%
(1) 自由な校風や建学精神が気に入った	20.8
(2) 服装が自由だし高校生活がエンジョイできる	16.3
(3) 有名大学への合格者が多い	2.8
(4) 自分の学力や能力に合っていた	19.2
(5) 併願校	20.4
(6) 中学の先生や両親に進められ	7.4
(7) クラブ活動が活発	5.6
(8) 大学が併設されている	0.6
(9) 国際コースがある	6.3

項目	%
(1) 非常に満足	23.2
(2) 満足している方	56.1
(3) あまり満足していない	16.1
(4) 不満だ	4.2

3.あなたの学校生活に対する満足感とは何ですか

4.桃高において教育上プラスと考えられる点は

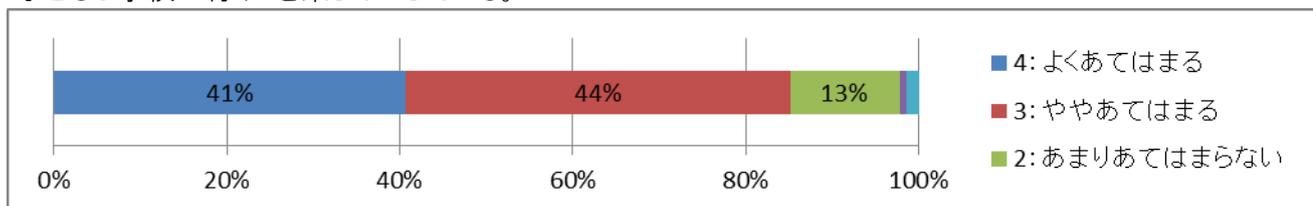
項目	%
(1) 自分の学力を伸ばしてくれる	13.9
(2) よい友人を得た	43.6
(3) クラブ活動や学校行事が活発	9.2
(4) よい先生にめぐり合えた	8.7
(5) 希望する大学の進学準備ができる	5.6
(6) 個性が認められ、人間的な成長を目指す	5.0
(7) 自由で気ままな生活ができる	9.8
(8) 満足していないので答えられない	4.0

項目	%
(1) 先生が教育熱心で指導力がある	23.0
(2) 教育方針や校風がよい	21.4
(3) 教育施設が整っている	33.0
(4) 生徒一人ひとりに指導が行き届いている	3.6
(5) クラブ活動や学校行事が活発	13.6
(6) 教育内容が精選され学力に見合った指導がされている	3.5

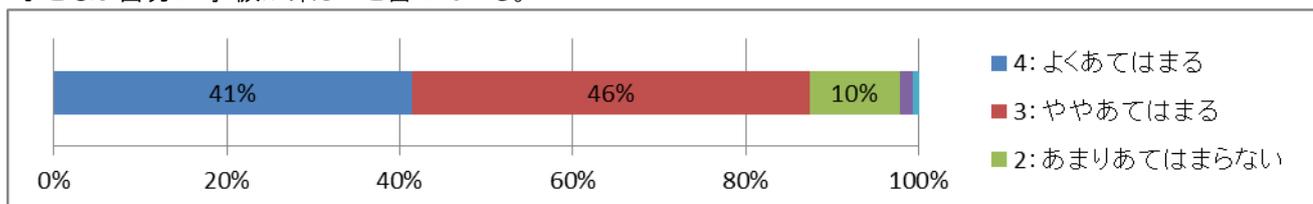
(2)保護者対象「学校教育診断表」(抜粋)

1.教育に関するもの

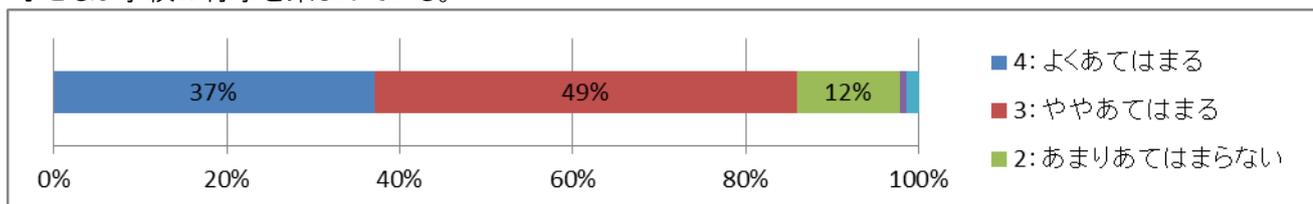
子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。



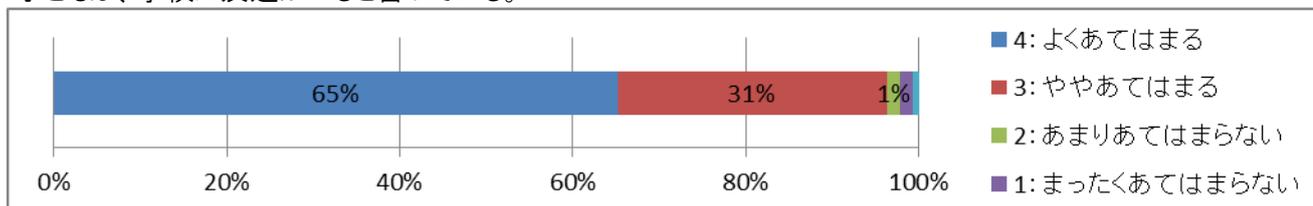
子どもは自分の学級が楽しいと言っている。



子どもは学校の行事を楽しんでいる。

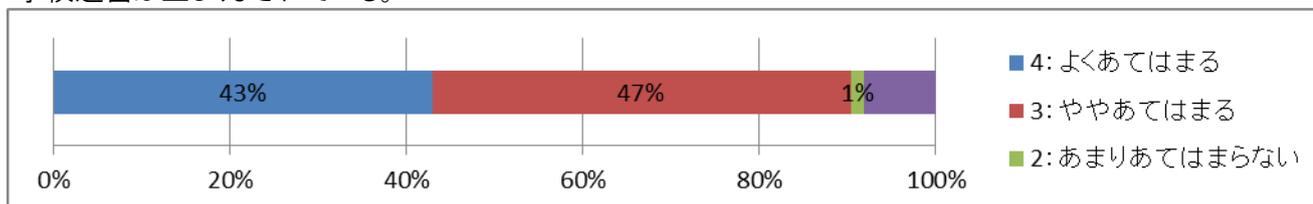


子どもは、学校に友達がいると言っている。

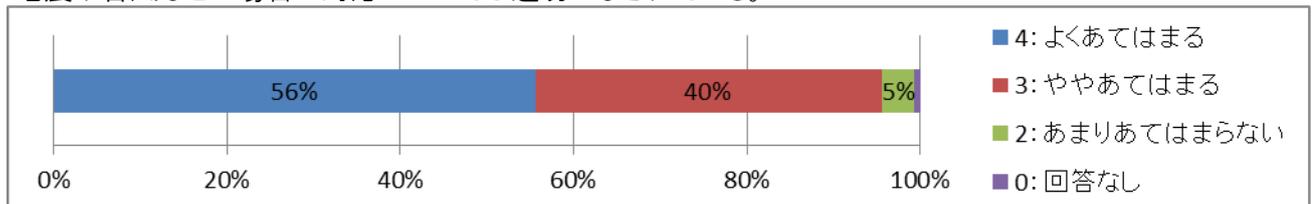


2.学校経営に関するもの

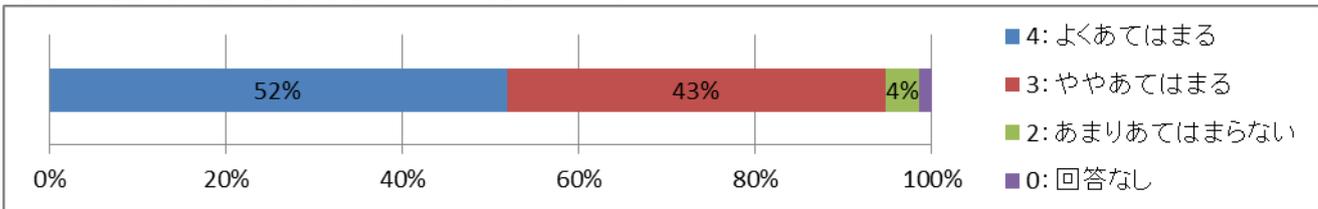
学校運営は正しくなされている。



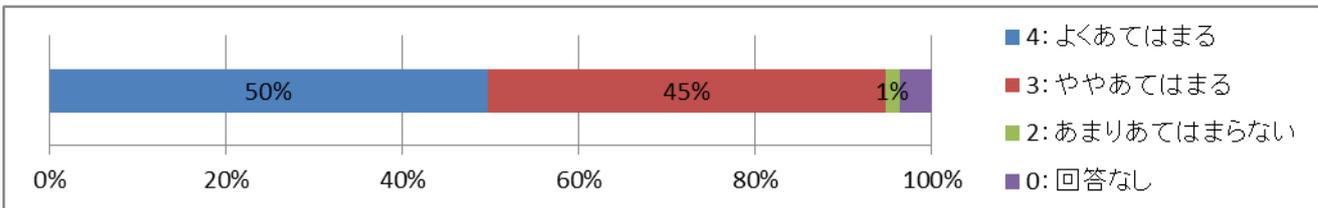
地震や台風などの場合の対応については適切になされている。



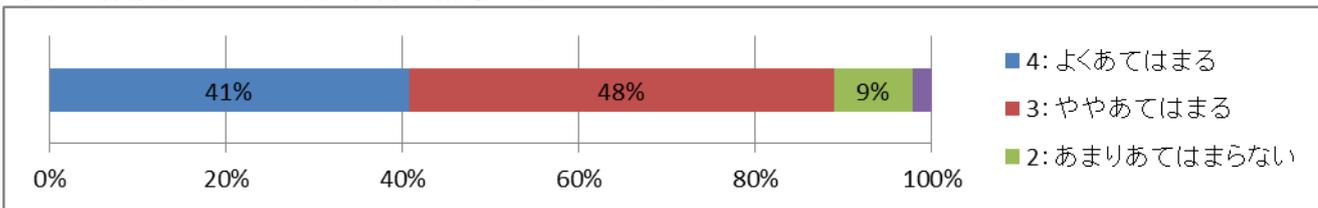
学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。



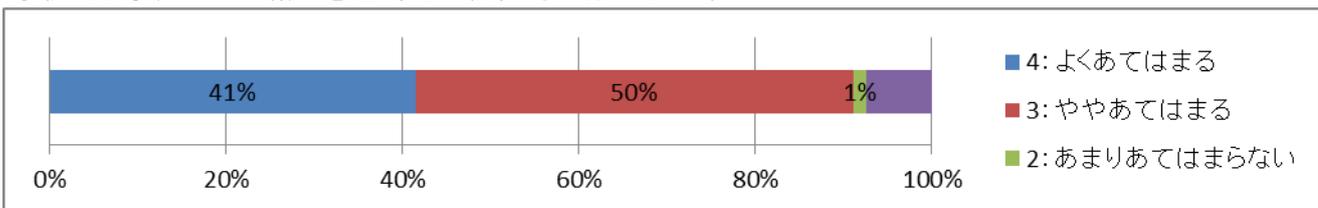
学校は、防災や防犯、事故防止に配慮している。



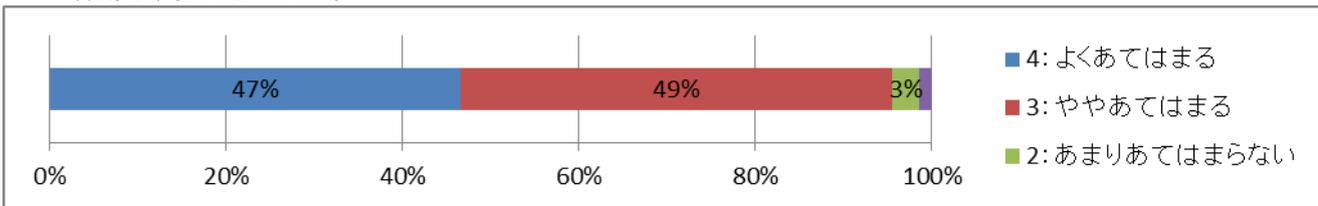
学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。



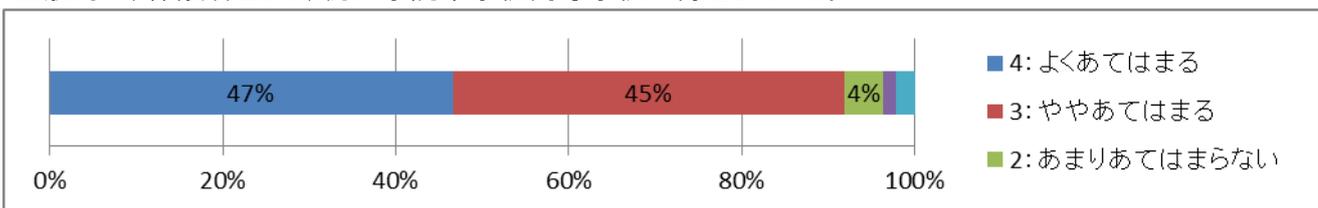
学校では家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。



PTA活動は、参加しやすい。

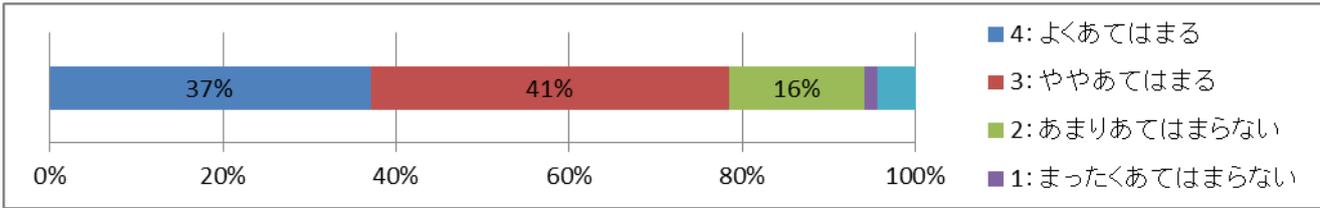


全般的に、保護者として、桃山学院中学校高等学校に満足している。

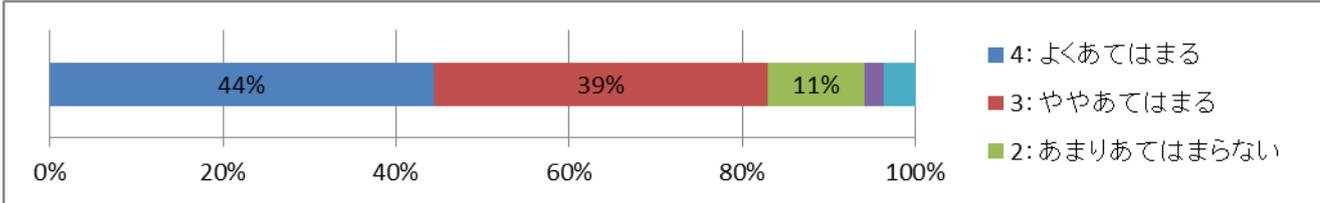


3.担任に関するもの

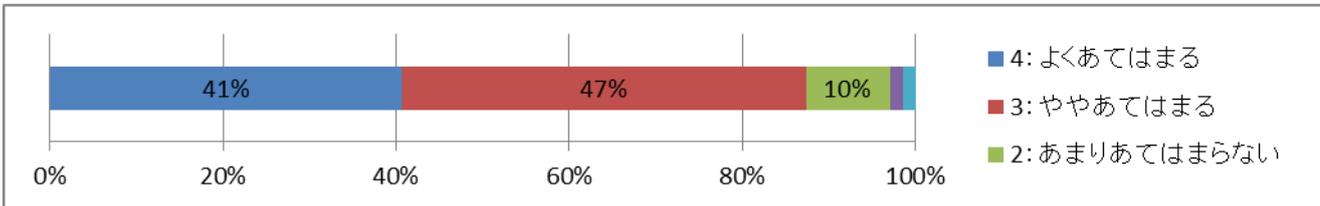
子どもは満足して担任の指導に従っている。



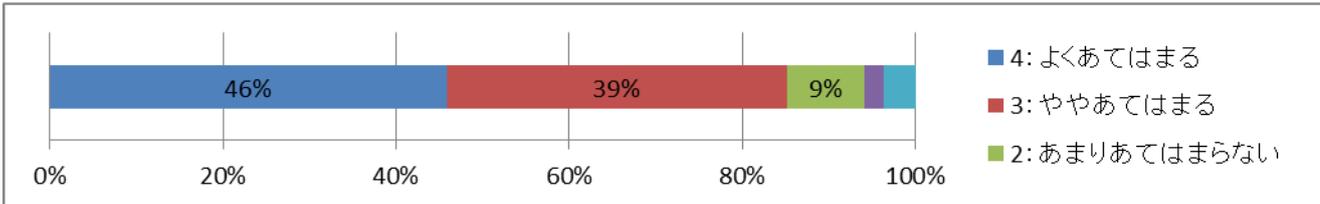
担任の子どもへの対応や姿勢に熱意を感じる。



懇談会は保護者と子どもにとって有意義である。



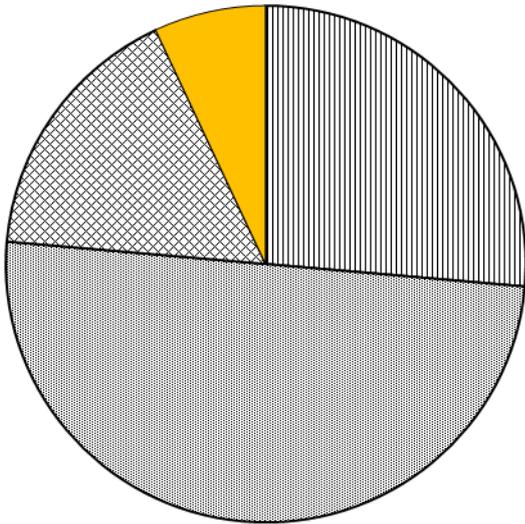
全般的に担任として信頼できる。



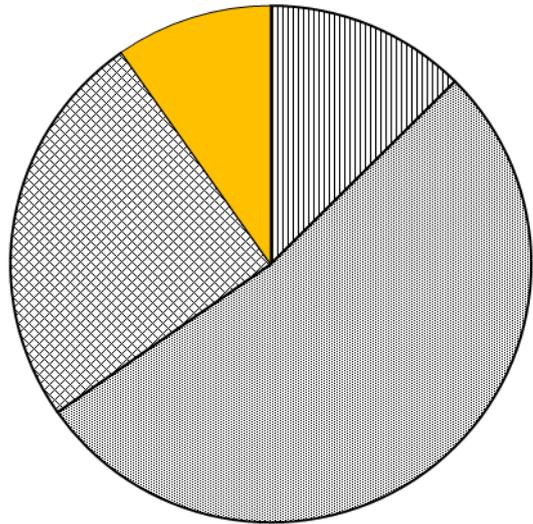
(3) 教員対象「教員自己評価アンケート」(中高共通)

はい
 どちらかといえば、はい
 どちらかといえば、いいえ
 いいえ

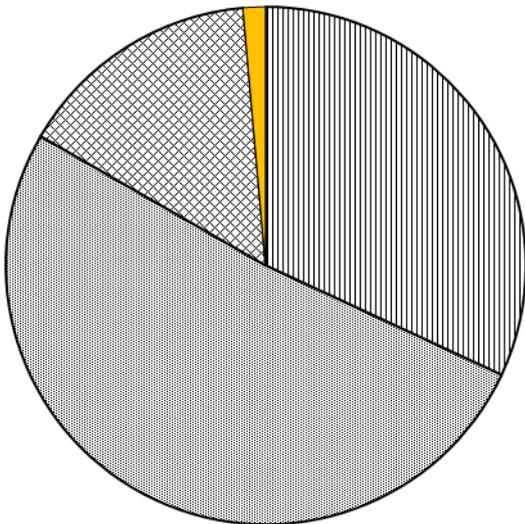
1. 教育方針を実施して教育目標を達成するために、具体的な教育計画が作成されていますか。



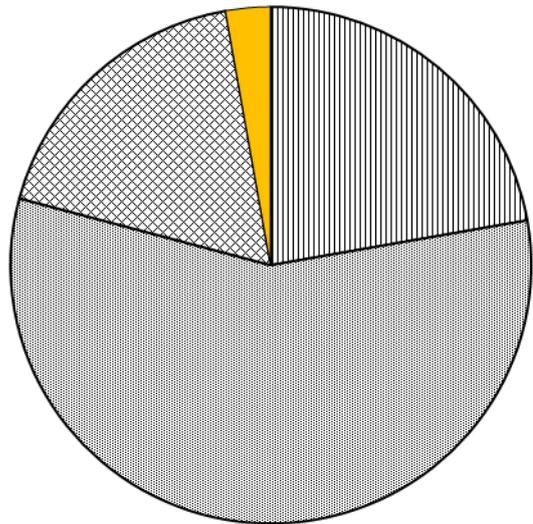
2. 教育目標を達成するために、本校の教育方針や学校運営に関し、全職員の共通理解が図られていますか。



3. 職員会議や校内各組織で提案された具体的目標や運営方針に基づいて、日常の教育活動を実施し、目標達成のための工夫・改善が図られていますか。



4. 教育目標の達成に向けた教育活動が具体的に進められ、成果が上がっていますか。





はい



どちらかといえば、はい

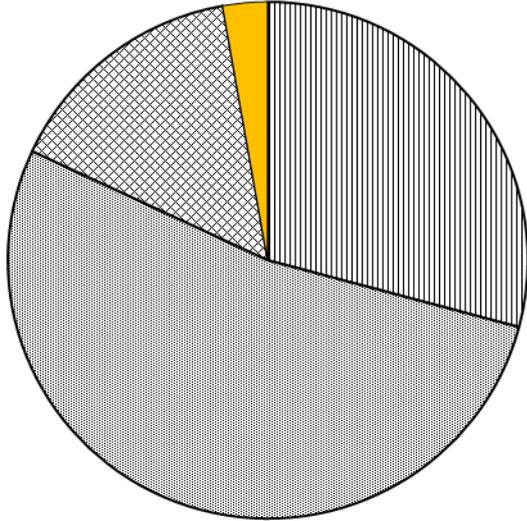


どちらかといえば、いいえ

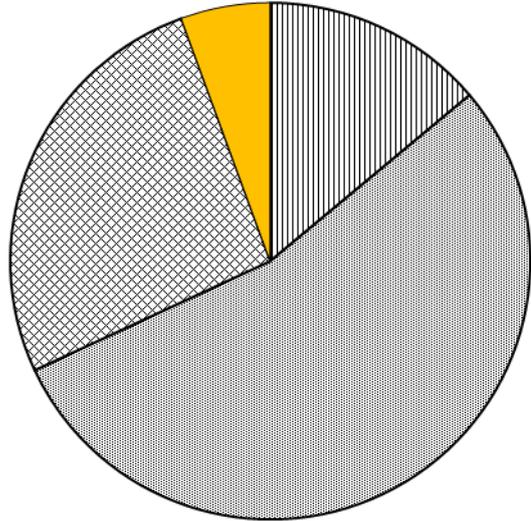


いいえ

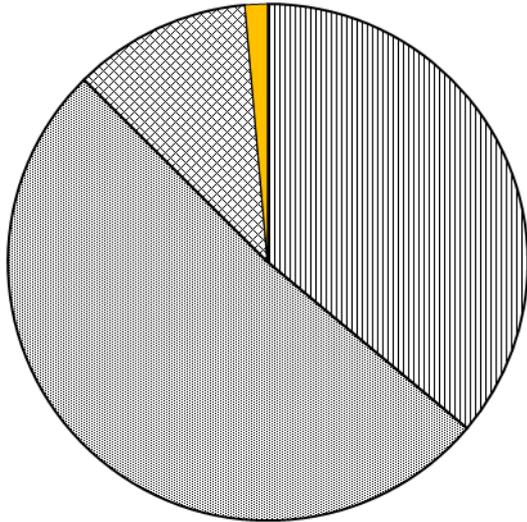
5. 教育課程の実施に当たっては、生徒の実態を十分踏まえ、教育目標の達成を目指したものとなっていますか。



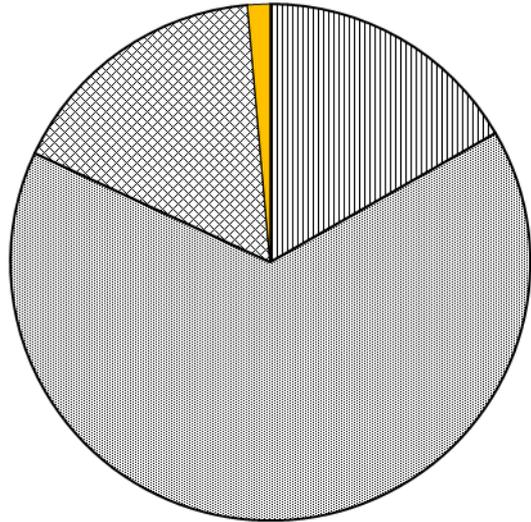
6. 教育課程の実施に当たっては、校内各組織の役割分担と連携が明確であり、それぞれの組織の考えが十分反映されるよう配慮されていますか。



7. 教育課程を円滑に実施するための工夫・改善が、毎日の教育活動の中で図られていますか。



8. 教育目標の趣旨に沿った教育課程を実施した結果、生徒一人ひとりの目標が達成されるなど、成果が上がっていますか。



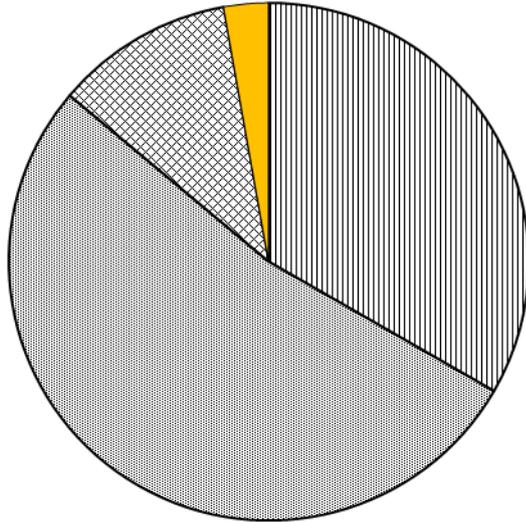
はい

どちらかといえば、はい

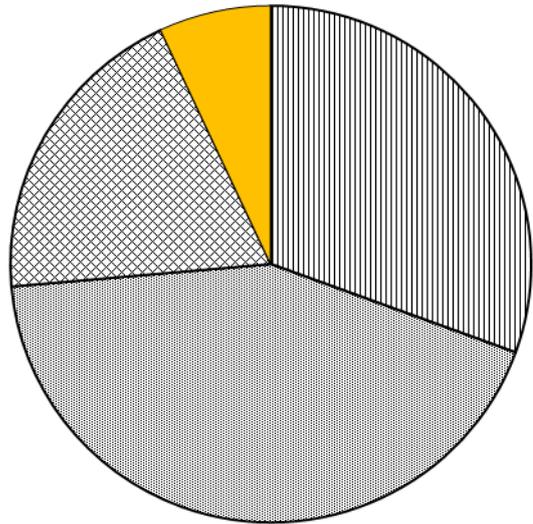
どちらかといえば、いいえ

いいえ

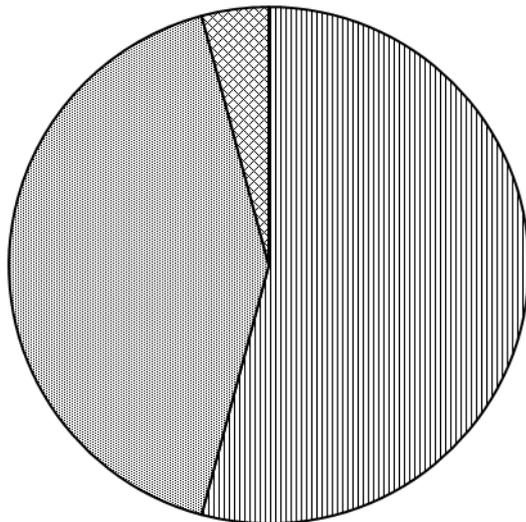
9. 各教科・科目の年間指導計画は、学校や生徒の実態を考慮して作成されていますか。



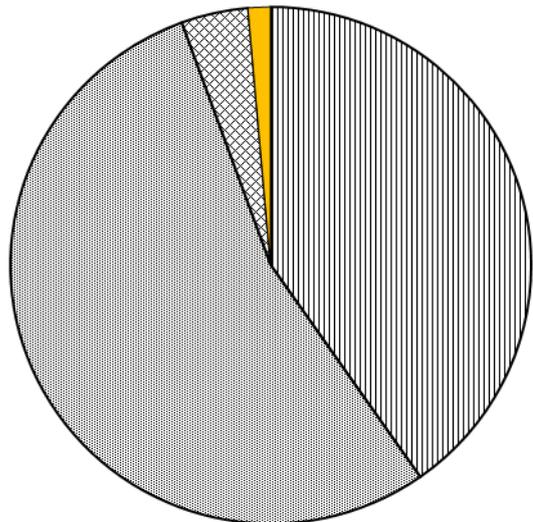
10. 各教科・科目の学習活動が円滑に進められるように、教科会議、各部会、担任会、コース会議、委員会が互いに協力し合うなど、指導体制が確立されていますか。



11. 学習内容を確実に身に付けることができるよう、授業内容に工夫・改善がなされていますか。



12. 指導の過程や成果を評価することによって、学習指導の改善を図り、生徒の学習意欲を向上させる努力をしていますか。



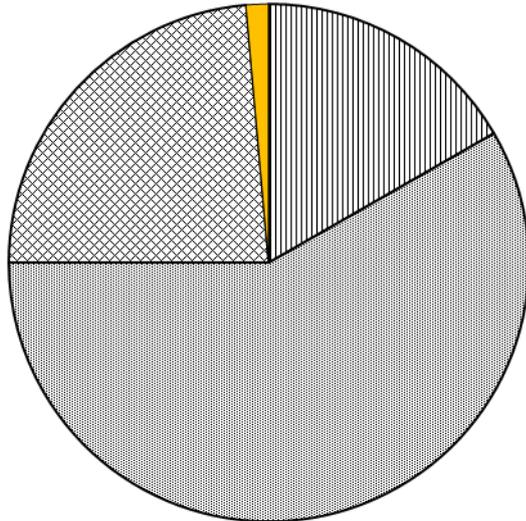
はい

どちらかといえば、はい

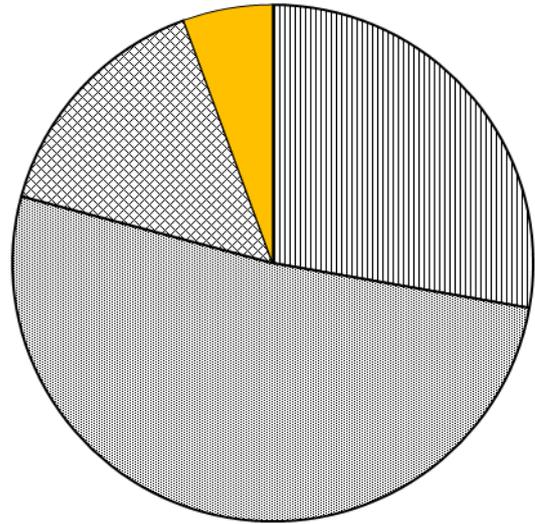
どちらかといえば、いいえ

いいえ

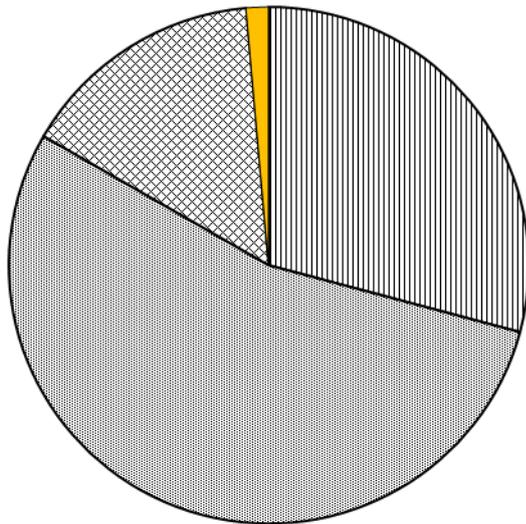
13. 教育目標に基づいた生徒指導や進路指導の年間計画が作成され、その全体構造と重点が明確にされていますか。



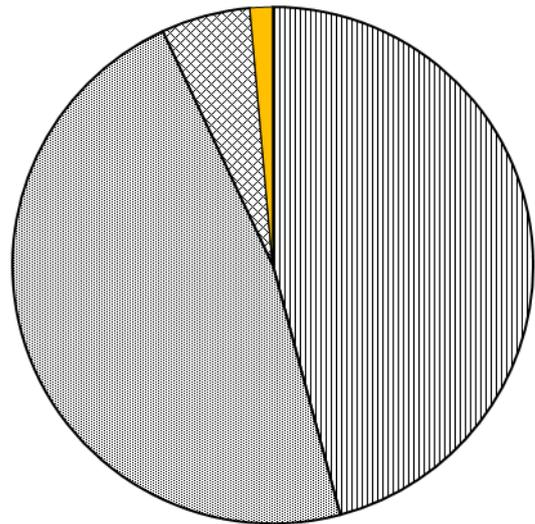
14. 学校の実態に即して生徒指導や進路指導が組織され、教育目標を達成するための役割分担と連携が明確にされていますか。



15. 生徒達に学則を守らせるため、教師集団の一員として、校則違反の生徒達に厳正に対応していますか。



16. 教師と生徒が信頼関係で結ばれ、教育目標の達成に向けて互いに生き生きと活動していますか。



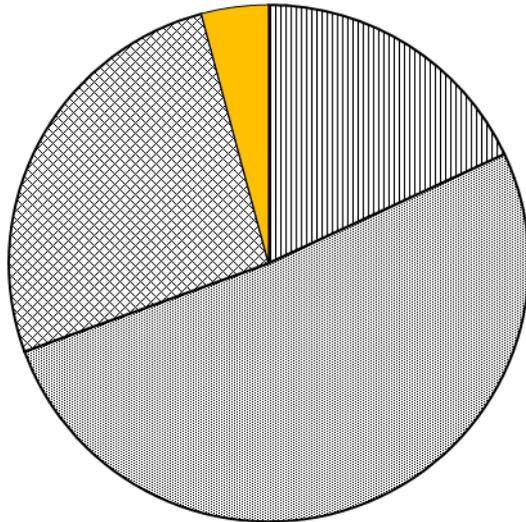
はい

どちらかといえば、はい

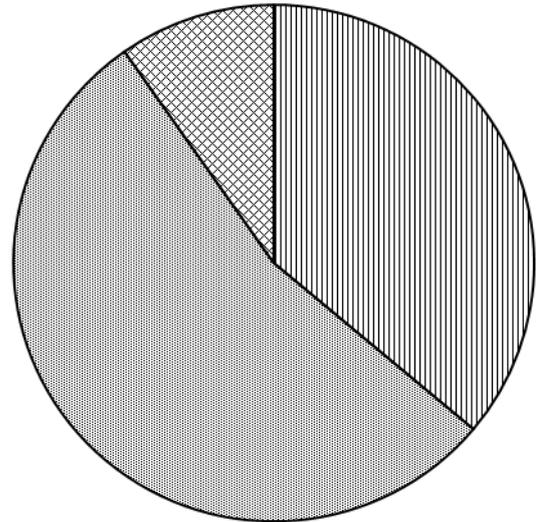
どちらかといえば、いいえ

いいえ

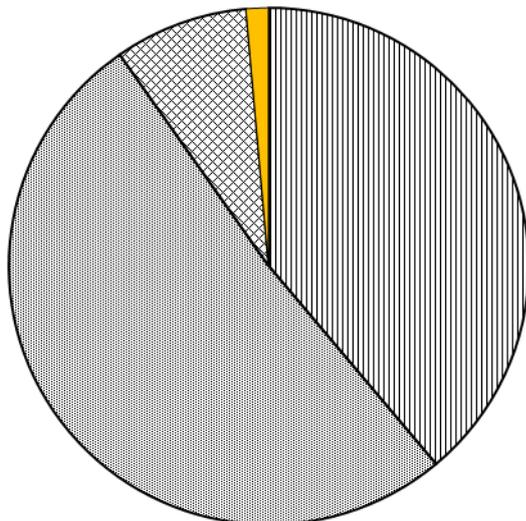
17. 生徒の実態や発達段階を的確に把握し、教育目標の達成に向けてのホームルーム計画が適切に設定されていますか。



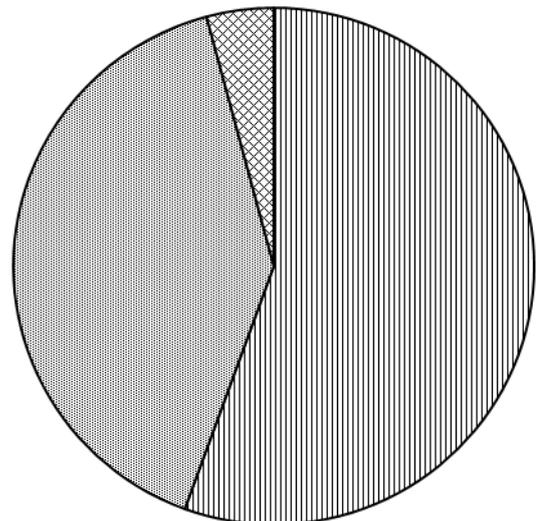
18. クラス運営に当たっては、生徒ひとりひとりの個性を把握し、その可能性を伸ばすための個人指導が適切になされていますか。



19. クラス運営にわたっては、クラス全体の特徴を理解し、各クラスの問題点に応じた集団指導が適切になされていますか。



20. クラス運営を充実したものとするため、また担任生徒や保護者からの信頼を得るため、教師としての研鑽に励んでいますか。



IV.事業活動に関して

2014年度事業計画及び事業報告について作成し、ホームページを通して公表を行いました。

<http://www.andrew.ac.jp/gakuin/approach/plan.html>

V.2014年度 桃山学院中学校高等学校 学校評価について

学校評価の会議(運営委員会・職員会議・関係者評価委員会)での意見交換など

※大学合格実績の取り組みや報告は「点検評価委員会」とする。(桃山学院中学校および高等学校点検評価規程に基づく)

2015年

4月15日 第3回運営委員会 校長報告5…学校評価学習会

4月22日 第4回運営委員会 進路指導部1…M1プロジェクト会議

7月 1日 第11回運営委員会 学校評価についての意見交換

7月17日 第5回職員会議 意見交換2…学校評価

8月26日 M1プロジェクト会議

9月30日 運営委員会…学校評価の教員アンケート実施

10月14日 運営委員会…学校評価中間報告

10月21日 運営委員会…翌日の職員会議に向けての学校評価の扱いについて

10月22日 職員会議…2014年度学校評価の意見交換(下記記録参照)／関係者評価委員会規程の語句変更について審議・学校評価のHPを読むことを義務付ける(11月2日 掲載予定)／学校評価に関する報告から2016年度方針を策定することの確認

↓職員会議で出てきた意見の記録

・教員自己評価アンケートについて…おおむね評価は高いものの、気になったのは「6. 教育課程の実施に当たっては、校内各組織の役割分担と連携が明確であり、それぞれの組織の考えが十分反映されるよう配慮されていますか」という質問に、約3分の1が「いいえ」もしくは「どちらかといえばいいえ」と答えている点である。

・組織の各部門が提供する教育サービスは内容の濃いものであっても、それらが、建学の精神や、ミッションステートメントとどうリンクしているのか俯瞰する視点が弱いと感じる。

・「目に見える実力」を顧みる会議があっても「目に見えない実力」を顧みる会議はない。→人間全体としての、全人格的な成長という視点から教育を顧み話し合う機会があってもよいような気がする。たとえば「芸術、宗教、行事、ボランティア、フィールドワーク」などの「目に見えない実力」に関わる分野が、現在は相互に関連性がなくバラバラに行われているかもしれない。「いのちの教育室、宗教教育委員会、響プロジェクト、人権カウンセリング委員会」なども、ミッションステートメントの下でどのように関わりあっているのかを考える視点があるとよいのではないかと感じた。

・また、教育やサービスを「提供する側」からはそれぞれ最高のものを提供しようという姿勢があっても、「提供される側」の実情から見た、その生徒個人としての必要を見てやれる視点は弱いかもしれない。(たとえば、一人が課せられる課題の範囲を、全体としてどの程度にすべきかを観てやれる視点など)。

・行事については肯定的意見が多いが、否定的意見を持つ生徒の理由を知る必要がある。

・学校が保護者に出す文書・事務連絡などが適切なものかどうかをチェックする必要

・HRの年間計画が適切に設定されていないのではないかな？

10月31日 関係者評価委員会…関係者評価委員(地域連合会会長・元PTA役員・元PTA役員・PTA会長・同窓会会長／学校側＝校長・高校教頭・中学教頭・教員・事務長)

11月2日 学校評価大阪府提出・HP掲載・桃山学院理事長提出

11月19日 職員会議…関係者評価委員会の意見報告／2016年度方針策定に向けて意見交換